

一般質問

- ・入札について
- ・市内の高等学校教育について
- ・市長就任時の7項目の公約達成について



河原崎 恵士

問

口利きを防止する策は

答 副市長をトップとする「建設工事請負業者指名審査委員会」で、委員が設計金額を把握できないよう情報管理を徹底することとしました。

問

市長就任時の7項目の公約についての進捗は

問

市内の高等学校教育についての考えは

答 「県高等学校第三次長期計画」では、池新田高校と横須賀高校を統合する案が示されています。これはいずれかの高校が残るといふ案ではなく、どちらかの施設を利用し新しい名称の新しい中身の高校を作ることです。市内に高校が無くなることは大きな負の影響が考えられます。市内の各団体や有志の方が御前崎市の教育振興を目的に、「おまえざき教育振興協議会」を設立しました。市も、その会と連携協力していきます。

答

「人口減少及び少子化対策」と子育て支援」では、子ども医療費の完全無料化の実施など各種の経済的支援を行いました。子育て環境の整備では、切れ目のない支援を提供するため、「子育て世代包括支援センター」の機能を強化しました。

『福祉・医療・介護の充実』では、「しろわくりニック」が開業し地域に根差した医療の連携や在宅医療が前進し始めました。

『産業振興発展と働く場所の確保』での企業誘致では、地質調査や可能性調査を行い企業進出へ対応できる体制を整えましたが、先行投資型の企業誘致では社会情勢の変化などでも思ったような成果が出ていません。成果が出ていない事業については原因分析を行い、公約実現に向けて全力を尽くします。

一般質問

- ・火葬場整備事業の進捗状況について



阿南 澄男

問

牧之原市と共同運営している南遠地区聖苑（火葬場）は、市長自ら牧之原市長を訪問して共同運営を解消し、単独で運営する旨を申し出ている。これを踏まえ市議会は、平成29年1月に朝比奈地区を候補地として提案したが、地元への説明会も実施されな

いままに白紙撤回された。平成30年度、市は火葬場建設候補地検討委員会を立ち上げて、改めて候補地選定の協議を開始した。その成果として15カ所の候補地エリアが絞られ、市長は佐倉地区の市有地を有力候補地として選定した。その後、地元説明会で厳しい意見が多数出たことにより、全てを再検討すると、3月の特別委員会で説明があった。6月の特別委員会では、佐倉地区の候補地も白紙撤回という言葉が市長から出ている。

再検討すると発言してから、半年が経過しようとしているが、今後の市長の方針、また、この段取りをどう考えているのか伺う

答

本年3月に建設候補地を1カ所に絞り込み、その周辺の方を対象に事前説明会を開催しました。大変厳しい意見をいただき、これも市民の偽らざる声であると真摯に受け止めています。候補地の再検討を表明してから半年が経過していますが、今は住民投票の問題がひと段落し、市民が火葬場のことを冷静に考えることができる時期を待つべきと考えています。火葬場整備については、周辺住民の皆様に対して十分な配慮をしつつ、市民のコンセンサスを得られるよう、引き続き慎重に取り組んでいきます。



南遠地区聖苑（火葬場）